



本町だより

横浜市立本町小学校 令和6年 6月28日 発行 第618号

地域に学び、地域で育つ子どもたち

副校長 岡田 真知子

梅雨入りとともに、さんさんと太陽の日差しがまぶしい、盛夏を感じる季節となりました。

朝、校舎内外の点検で正門前を歩くと、5月中旬あたりからツツジや「はまみらい」をはじめとしたバラが開花し、6月に入ると紫色、水色、赤紫色など色とりどりの紫陽花が満開になりました。子どもたちに季節の移り変わりを教えているような花の開花リレーです。

さて、生活科や総合的な学習の時間では、梅雨の晴れ間の中で、子どもたちが学校内外で見つけたり疑問に思ったりしたもの・人・ことにくりかえし関わりながら、学習活動を広げています。1年生、2年生は、毎朝水やりをしながら一人ひとりが花や野菜を育てています。生活科の学習で、大きくなってきた葉っぱを頬にあてて嬉しそうに観察をする子がいて、植物の成長を大切に感じていることが伝わりました。

「子ども食堂ハレの日ケの日」「野毛山動物園」「馬車道」「掃部山公園」「地域花屋」「花や野菜の栽培活動」「大岡川」「和太鼓」「水族館」「階段アート」「ゆるスポーツ」など、まだまだありますが各学級で子どもたちが見つけた学習の「材」です。

各学級が探求課題をみんなで話し合っ決めて学習活動をすすめていきます。またたんけんをきっかけにして地域の方々からお話を聞き、その思いや願いを学んでいきます。ときには、その道のプロの方を学校にお招きして教えていただくこともあります。地域に出かけるときには、子どもたちの安全のため保護者や地域の方々に付き添いをお願いすることもあります。

本物と関わりながら体験的に学ぶ活動、子どもたちが思いをもって夢中になって取り組む活動を通して、子どもたちの取組のために、力を貸して下さる方々にたくさん出会いながら、多くのことを学ぶことができます。本町の「まち」のたくさんのもの・人・ことに会いながら、子どもたち一人ひとりが「大切に感じたこと」を友達や家族、地域の方々と共有していけるといいなと思います。

暑さが厳しくなる7月も、子どもたちの取組、登下校の見守り、学校行事でのご支援ご協力をいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

